

# 『まいごのかぎ』

3年

## —読書郵便でファンタジーを紹介しよう—

### ■ 設定の趣旨

本教材は、ファンタジーである。ファンタジーの魅力は、現実世界と異界の世界を行き来することや主人公や登場人物がその中で、いろいろな不思議なことに遭遇することである。(参考:『国語科教育の基礎・基本 教え方・学び方 ポイント&シート 1「読むこと」』,井上一郎編著,2021年,明治図書)

物語の紹介活動としては、読書すごろく、ブックトーク、読書絵巻物、帯作りなどがあげられよう。物語の紹介の要素としては、主人公の紹介、粗筋、本文の引用、紹介語彙などがある。ここで、「紹介のルール」を引用しておこう。「1 紹介する目的をはっきりさせよう, 2 紹介文の分量を決めよう, 3 時間を決めよう, 4 紹介様式や内容・表現の仕方を決めよう」(『読書力をつける 読書活動のアイデアと実践例 16 下巻』井上一郎編著,2002年,明治図書)。第3学年ということもあり,簡単な紹介文(構成要素としては,本の名前,ファンタジーの特徴を入れた粗筋,おもしろかったところ)を書き,読書郵便を行うことにする。

タブレットを活用した展開を試みているが,できる範囲内で活用して欲しい。

### ■ 指導目標

○ 主人公の性格を表す言葉をとらえることができる。

【知識及び技能】

○ 場面の変化によって,主人公の気持ちの変化をとらえることができる。

【思考力,判断力,表現力等】

○ ファンタジーの特徴である不思議な世界と現実の世界の行き来をとらえることができる。

【思考力,判断力,表現力等】

○ 日常の生活を表現しているファンタジー作品を読み,紹介文を書くことができる。

【思考力,判断力,表現力等】

○ ファンタジーを読み,意欲的に紹介文を書き,読書郵便をすることができる。

【学びに向かう力,人間性等】

## ■ 指導計画（11 時間）

次	時	学習活動	指導上の留意点と評価規準・評価方法
一	1	①今まで、ファンタジーを読んだことがあるのかを読書カードで振り返る。【読書カード】	○ファンタジーについては、簡単に確認をする。
		②今まで主人公の性格や気持ちの変化をどのようなポイントでとらえたのかを振り返り、まとめる。	○今まで学習したワークシートなどをタブレットに保存しているフォルダから出させる。
		②タブレットに送られてきた教師が作成した読書郵便の紹介文を見て、紹介文の内容と感想を整理する。	○紹介文は、数種類用意をする。
	2	③学習課題「主人公の性格や気持ちの変化をとらえ、読書郵便でファンタジーの特徴をいかした紹介文を書こう」を設定し、学習計画を話し合う。【学習計画表】	○学習課題を設定し、学習計画を立てようとしている。【態度】〈観察〉
二	課外	④4種類の日常の生活を表現しているファンタジー作品を学級文庫やタブレットに保存しているフォルダから出し、並行読書をして、タブレットに記録を残す。	○同じ本を複数冊学級文庫に用意する。
	3	⑤物語の題名の付け方のポイントシートを参考に、今まで学習してきた「スイミー」「おおきなかぶ」の題名の付け方と比較し、「まいごのかぎ」という題名は「困った状況＋解決方法」を表わしていることを確認する。【ポイントシート】	○ポイントシートは、資料を保存しているフォルダから抜き出す。
		⑥場面を分けるためのポイントシートを参考に、場所を手掛かりに、教材文を場面に分ける。【ポイントシート】	○今までどのように場面を分けていたのかを確認する。
	4	⑦ファンタジーの構成を説明したポイントシートを参考に、教材文を読み、異界と現実との行き来を分ける。【ワークシート1】【ポイントシート】	○現実の世界→不思議な世界→現実の世界をとらえている。【思・判・表】〈ワークシートの分析〉
	5	⑧冒頭部の第1場面を2つに分け、主人公「りいこ」の性格や気持ちを整理し、物語の冒頭部の役割について整理する。	○主人公の性格や気持ちを指定された字数でまとめている。【思・判・表】〈ワークシートの分析〉
	6	⑨「りいこ」がしょんぼりと帰っている時、かぎを見つけた時、桜の木、ベンチ、魚、バス停での不思議な出来事が起きた時の気持ちの変化をとらえ、300字程度 of 原稿用紙に整理する。【原稿用紙】	○「りいこ」は最初はしょんぼりとしていたが、不思議さがだんだん大きくなり、最後は周りを気にしなくて自分は自分だと思っていることをとらえている。【思・判・表】〈ワークシートの分析〉

## わたしの授業

	<p>7 ⑩今まで学習した教材を使って書いた2種類の粗筋のモデルを参考に教材文の簡単な粗筋をファンタジーの特徴を入れて300字程度で書く。【原稿用紙】</p> <p>8 ⑪タブレットで教材文の紹介文を、モデルを参考に本の名前、ファンタジーの特徴を入れた簡単な粗筋、おもしろかったところを構成要素として400字程度で作成する。</p> <p>9 ⑫並行読書した日常生活を表現したファンタジー作品から4年生の紹介したい本を1冊選び、タブレットで撮影する。</p> <p>⑬紹介したい本の異界と現実との行き来に印を付け、主人公の性格や気持ちの変化を整理する。</p> <p>10 ⑭紹介したい本の簡単な粗筋をファンタジーの特徴を入れて300字程度で書く。【原稿用紙】</p> <p>⑮タブレットで教材文の紹介文を、本の名前、ファンタジーの特徴を入れた簡単な粗筋、おもしろかったところを構成要素として400字程度で作成する。</p>	<p>○モデルは、物語の途中で終わる書き方も用意する。</p> <p>○モデルは、3種類を用意する。</p> <p>○事前にタブレットで撮影してもよいことにする。</p> <p>○ポイントシートなどを参考にさせる。</p> <p>○日常の生活を表現しているファンタジー作品を読み、構成要素を入れた紹介文を書いている。【思・判・表】〈紹介文の分析〉</p>
三	<p>課外 11 ⑯作成した紹介文を読書郵便として4年生に渡し、評価してもらおう。【評価カード】</p> <p>⑰評価カードを基に、自己評価をする。</p> <p>⑱主人公の性格や気持ちの変化の把握やファンタジーの特徴、紹介文の書き方をタブレットの中にまとめ、保存する。</p>	<p>○書いた紹介文を読書郵便にして意欲的に渡そうとしている。【態度】</p> <p>&lt;観察&gt;</p> <p>○タブレットに保存することで振り返りが容易にできるようにする。</p>

■ 指導のポイント

〈第5時の扱い〉

学習活動	教師の働きかけ
<p>①前時の授業の振り返りをする。〈みんなで〉 ②今日のめあての確認をする。 〈みんなで〉</p>	<p>○資料を保存しているフォルダの中の学習計画表を参考にさせる。</p>
<p>めあて 第1場面を分けよう。主人公のどんなことが書いてあるのだろうか。</p>	
<p>③今日の授業の流れを確認する。〈みんなで〉 ④教科書の第1場面を読み、2つの違ったことが書いてあることに気づき、2つに区切る。〈一人で〉 ⑤どこで区切ったのかを話し合い、2つ（ア「海ぞいの～つぶやきました。」イ「三時間目～うさぎに悪いことをしたなあ。」）に区切る。〈グループで〉→〈みんなで〉 ⑥第1場面の最後の1文（「思い出して～見えました。」）は、回想の部分ではなく、第1場面のどこと同じなのかを探す。〈みんなで〉 ⑦主人公はだれなのかを予想する。〈みんなで〉  ⑧「りいこ」は、どこで何をしているのかを15字以内で書き、状況を説明していることをとらえる。〈一人で〉〈みんなで〉【ワークシート1】 ⑨その時の「りいこ」の様子を2枚の付箋紙に書く。〈一人で〉 ⑩付箋紙には、「うつむきがち」と「しょんぼり」を書いたことを確認する。〈みんなで〉 ⑪⑧で書いたワークシートに2枚の付箋紙を付け、「りいこ」の気持ちが暗くなっていることをとらえる。〈一人で〉 ⑫第1場面で「なぜ、りいこは、うつむきがちでしょんぼりと帰っていたのか。」の理由を50字程度で要約する。〈一人で〉 ⑬要約を発表し、「りいこ」が優しく、空想が好きで、友だちに言い返せない女の子であることをとらえる。【性格語彙表】 ⑭本時の授業をまとめる。〈一人で〉→〈みんなで〉</p>	<p>○わからない児童には、時間に着目させる。 ○ほとんどの児童は、第1場面の最後の文まで、回想の部分だと答えると考えられるが、その部分は第1場面の「りいこ」が学校から帰っているところと呼応していることに気付かせる。 ○第1場面では「りいこ」しかでていないので、予想することで止める。 ○15字で表現させることで行動のみをとらえさせる。  ○視覚的にとらえるようにする。 ○ワークシートの原稿罫に書かせる。 ○理由は、回想の部分に書いてあることに気付かせる。 ○性格語彙表を参考にさせる。</p>

## わたしの授業

第1場面は、二つに分けられ、主人公「りいこ」が学校から家に帰るところと三時間目にあったことを思い出しているところが書いてある。

- 「りいこ」は、友だちからうさぎの絵をわらわれ、うさぎの絵をけしてしまったことをこうかいしている。
- 「りいこ」は、やさしく、くうそうがすきで、友だちからわられるといいかえせない女の子。

⑮友だちと学び合っってよかったことや初めて知ったことなどについて振り返りをする。〈一人で〉

⑯次時にすることを学習計画表で確認をする。〈みんなで〉

○振り返りが難しい児童には、板書を参考にさせる。